

澁谷陽子

2019年6月11日

留学報告書

2016年度奨学生の澁谷陽子です。現在スタンフォード大学の経済学部博士課程3年目です。博士課程最初の2年で必修、選択科目の履修を終え3年次は比較的自由に自分の研究を進められています。時間の制約が減ったこともあり、今学期はスタンフォード以外で行われるセミナーやコンファレンスに多く足を運びました。その中でも一番最近にあったハーバード大学でのWorkshop on the Economics of Information Security(WEIS)というコンファレンスについてご紹介します。WEISはその名の通りinformation securityに関する論文を発表する場なのですが、information securityと一口に言ってもコンピュータサイエンスの研究者から、ビジネススクール、経済学部、民間企業に所属する学者の方々まで出席者のバックグラウンドは様々でした。そのため、理論的なものからビジネスの応用に特化したものまで個性的な論文が並んでいました。コンファレンス初日はサイバーセキュリティに関する技術的な論文、翌日はビットコインに関する論文から情報漏洩のコスト算定に関する論文まで、経済学にかなり近い内容が議論されました。セミナーの雰囲気自体も私が普段出席している経済学部のセミナーと異なり、とてもおだやかな雰囲気で進んでいきました。普段お話する機会のないような分野の研究者の方とたくさん交流ができ、研究へのモチベーションが上がりました。

コンファレンスの最終日の夜には、同じく2016年度奨学生の田主陽君にMITを案内してもらいました(写真1)。翌日も観光できる時間が残っていたので、ボストンのダウンタウンや観光名所を回りました(写真2)。色々な分野の研究者、実務者の方とお話することで、自分の研究の幅が広がるのを肌で感じる事ができたので、これからは機会があればできるだけ多くのコンファレンスに参加してみたいと思います。



写真1：MITの有名な建物、卒業式の前日で準備が進められていました。



写真2：Beacon Hill というレンガ造りの建物が多く並ぶ観光名所。